



6月は雨の季節。外出が憂鬱なこの季節に、雨について再発見してみたいか。詩のコーナーなどでは6月におすすめの本を紹介いたします。ぜひ、雨音に耳を傾けながら普段は手にしない本に挑戦してみたいか。でしょうか。

読書の窓。

~6月に読みたい本~



一般書

『雨の名前事典』
高橋順子／文



雨には様々な名前があるのをご存じでしょうか？狐雨に桜雨。写真入りでそれぞれの言葉が紹介されています。地域によっても表現は様々で、何度も繰り返し読みたくなる言葉がたくさんあります。日本語の美しさを再発見できる1冊です。

児童書



『はっぱのおうち』
征矢清／作 林朋子／絵

さちが庭で遊んでいるとほっぺたに雨がぼつんと落ちてきて、葉っぱの屋根で雨宿り。雨宿りの先で、たくさんの虫も雨宿りです。さちの表情が豊かに描かれ、読んでいる側も思わずにっこりしたくなります。雨の日に読みたくなる絵本です。

児童書



『ぼくたちはなく』
内田麟太郎／著 小柏香／絵

読む者の胸を打つ切ない詩や思わずクスッと笑ってしまう言葉遊びの詩など、「泣く」と「笑い」をテーマにした詩集です。読み進めていくうちに、生きる力と勇気が湧いてきて、いつしか降り続く雨がやみ、青空が広がってきます。心の雨の日に読んでみたいか。でしょうか。

児童書

『あめふりくまのこ』
こわせ・たまみ／編 矢合直彦／絵

親子で季節を味わい、楽しむ詩の絵本シリーズ。一人読みはもちろん、読み聞かせにもぴったりです。色鉛筆で書いたようなイラストを見ながら、ぜひ親子で口ずさんで見てください。お気に入りの傘を持って、散歩したくなる絵本です。



やよい図書館では特色コーナーで詩を紹介しています。下記の本も借りることができます。

《特色コーナー》

- ・「雨のうた」 鶴見正夫／詩 いわむらかずお／絵 図書印刷
- ・「おひさん、あめさん」 金子みすゞ／著 矢崎節夫／選 森川百合香／絵 JULA出版局
- ・「雨の日には雨の中を 風の日には風の中を」 相田みつを／著 角川書店
- ・「涙のとなりに」 みつはしちかこ／著 立風書房
- ・「中原中也詩集」 中原中也／著 思潮社
- ・「ヴェルレーヌ詩集」 野村喜和夫／訳編 思潮社

